

原発賠償紛争審中間指針詳報

文部科学省の原子
賠償紛争審査会がな
した東京電力福島第
事故の賠償中間指針
は次の通り。

中間指針は本件事故による原子力損害の当面の全体像を示している。今後、被害者と東京電力との話を含めると合意形成に寄与することができると希望されるとしても、中間指針に明記されない個別の損害が賠償されないことのないように留意が必要である。東電は、迅速、公平かつ適切な賠償を行つことを期待する。

【中間指針の位置付け】

一、二次指針で決定した内容にその後の検討を加え、賠償すべき損害と認められる一定の範囲の損害額を想定して示した。中間指針は対象外となるても、個別具体的な事情に応じて相当因果関係のある損害と認められることがある。今後、事故収束や避難区域の見直しなどに伴い、必要に応じてあらためて指針で示すべき事項について検討する。

【政府による避難などの指示にかかる損害】

▽対象区域

避難区域、屋外避難区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域、特定避難準備区域、地点、南相馬市が独自の判断に基づき住戸に一時避難を要請した区域。

▽避難など対象者

一、事故発生後に区域内から区域外へ立ち退き、および区域外滞在を余儀なくされた人（ただし、六月一日十日以降に緊急時避難準備

区域から同区域外に避難を始めた人のうち、子ども、妊婦、要介護者、入院患者など以外の者を除く)。
一、事故発生時に区域内において、区域内に住居があるものとの引き続き区域内で在宅余儀なくされた人。
一、屋内避難区域内で内への退避を余儀なくされた人。

△損傷項目
(検査費用・人)

一、避難や屋内避難を行った人や区域内滞在者が、対象区域への被はぐの有無や影響を確認するため必要が認められた場合、負担した検査費用は賠償すべき損害。(避難費用)
一、必要なかつ合理的な範囲内で負担した次の費用を賠償すべき損害。(①対象区域から避難するため負担した交通費、家財道具の移費用②区域内外滞在するため負担した宿泊費と付隨用③避難によって増加した部分の生活費用。
(時立ち入り費用)
一、警戒区域内外に住居を持つ人が、市町村実施の「時立ち入り」のため負担した交通費、家財道具の移費用は賠償すべき損害。
(生命・身体的損害)
一、避難を余儀なくされたもののが賠償すべき損害。

区域の指定が
までの間、屋内
程度の健康状
止するため負
の精神的苦痛
の損害。
区域外滞在を
なくされた人
時は区域外に
た住居がある
の期間にわたり阻
くされた人
日常生活の維持
が理りを減らす
が検査を受ける
つては、その
害を負へ、治療を
健康状態が悪
書を含む)、
ある人は死
より生じた逸
診断費、治療
費、整容代、精
神科医の費用
から避難した
苦痛のうち、
の精神的苦痛
の損害。
区域外滞在を
なくされた人
時は区域外に
た住居がある
の期間にわたり阻
くされた人
日常生活の維持
が理りを減らす
が検査を受ける
つては、その
害を負へ、治療を
健康状態が悪
書を含む)、
ある人は死
より生じた逸
診断費、治療
費、整容代、精
神科医の費用
から避難した
苦痛のうち、
の精神的苦痛
の損害。

(就労不能に伴う損害)（検査費用・物資費）
一、対象区域内の輸送業者がある勤労能力を示すにより就労が妨げられた場合、給与等が支拂った場合、追加的費用が発生する。
（財物価値の喪失）
一、避難指示等を無理なくされた場合、対象区域内の商品を含む財物に損傷等を及ぼした場合、積荷等を安全を確認せねばならないが、必要かつ合理的な場合、運送業者が負担した検査費用を支拂う。
（べき損害）
【政府による航
行規制】
一、政府が三百六十度航行危険区域に設定した内航海運業者等の区域と飛行禁止区域とに空域。
▽損害項目
一、漁業者が対象区域での操業や航行による得なくなつた収入を減収分を追加的費用すべき損害。
一、航空運送業者が区域を迂回して飛行する。

農林水産物（加工品）や食品の出荷の他の生産・製造に関する制限、また水産物や食品に関する指示などについて、政府が行う指揮などによる影響を防ぐための措置を「出荷制限指示」、損害を防ぐための措置を「損害防除措置」として実施する。農林水産業は、この指揮等により、生じた損害を被る場合、その損害は原則として賠償される。しかし、損害を被る場合、その損害は原則として賠償される。しかし、損害を被る場合、その損害は原則として賠償される。

②サービスを業者が来訪を拒んで発生する拠点で、にかかるもの。
③放射性物質を忌避されたこと、発生したもの。
副次産物として製造された事業者の取扱いによる政府の指導にていた事業者のかかるもの。
④水の放射性を行っている都者が取引先の要施を余儀なくさかなるもの。
一、海外往來を受けるサードパーティが取引先の要施を余儀なくさかなるもの。
一、大震災に相当程度認めたその点の検討も、
△輸出の風評、一、わが国の輸送用船舶やについて、輸出手本生じた検査費用は、書発行費用は、事故との相当因められる。
一、わが国に限り、輸出手本がされた時は生産・製造して、輸出手本がされた時は生産・製造

が検出され て生じた のサービス 提供すること 否すること	た、本県に のサービス 提供すること 否すること	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
物質の指導 及び関連する 規制の実施	物質の指導 及び関連する 規制の実施	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
副次産物を 製造する事 について、事 業者に告げ る。	副次産物を 製造する事 について、事 業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
当該製品に ついて、事 業者に告げ る。	当該製品に ついて、事 業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
の引き取り とによって 扱いに関する 事項について、 事業者に告げ る。	の引き取り とによって 扱いに関する 事項について、 事業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
の外団人が または提供 する場合に ては、その外 国人が該地に 在する拠点 のうち、事 業者に告げ る。	の外団人が または提供 する場合に ては、その外 国人が該地に 在する拠点 のうち、事 業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
による影響も られるため、 必要。	による影響も られるため、 必要。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
輸出品につ いて、該地に 在する拠点 のうち、事 業者に告げ る。	輸出品につ いて、該地に 在する拠点 のうち、事 業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
コンテナに ては、該地に 在する拠点 のうち、事 業者に告げ る。	コンテナに ては、該地に 在する拠点 のうち、事 業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
の輸入拒否 既に輸出ま されたもの 否によって 輸出品につ いて、該地に 在する拠点 のうち、事 業者に告げ る。	の輸入拒否 既に輸出ま されたもの 否によって 輸出品につ いて、該地に 在する拠点 のうち、事 業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
果樹園が認 定する事 業者に告げ る。	果樹園が認 定する事 業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
方針を示す と同時に、 該地に在す る拠点の事 業者に告げ る。	方針を示す と同時に、 該地に在す る拠点の事 業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。
該地に在す る拠点の事 業者に告げ る。	該地に在す る拠点の事 業者に告げ る。	書で り、 事務 を請 う。 関係 を有す る。

、【間接被害】
による避難指示や賠償が生じたことを認められる。
第一次被書を受取った第三者に生じた間接被害

、「第一次被書者
の代替性がない場合
に原発作業員、自衛隊員、警察官等
の他の人が、被
る放射線障害を負
い、精神的損害な
どが悪化し、疾
り、あるいは死亡
する被書者への各種賠償金と
こと損害賠償金と
づいて。
「原子力損害を
が同時に損害を受けたと
利益を受けると
場合はその利益
額から控除すべ
く地方公共団体な
る損害

一、地方公共団体
相当因果関係が認
められる。
公共団体が民間業
様の立場で行つる
の損害

とは政
風評被
た關係に
けた事
た被害
との取
合は、
がある
よる損
との取
合は、
がある
よる損
に従事
衛官、
たは住
ぼくに
い、健
病にか
によつ
ては賠
びは賠
給付金
の調整
の領を
きだ。
どの財
被つた
質性が
認めら
れた事
業に関
する事
業者と
よび地
または
立て替
償の対
められ
なると
体など